

Radixの会

第一回総会開催報告

2月22日(金)東京千代田区の東商ホールにて、Radixの会第一回総会が開催され、2001年度の活動報告、次期役員体制承認、次期活動方針の承認を行ないました。当日の参加者は会員134団体250名、非会員98名、らでいっしゅぼーやスタッフ84名の、合計432名。残念ながら当日出席できなかった101団体の方の委任状を併せ、311会員で構成される過半数の会員のご承認をいただきました。

Radix

Radix

■2001年度活動報告

〔活動報告〕

事務局長：竹内 周

Radixの会は今年度の活動として技術向上・相互交流の二つの方向性を打ち出してきました。技術向上の分野では専門部会を設置し活動を開始。事務局ではこれらの活動を企画・推進し、会の活動を広く伝えるために会報の発行を中心とした情報発信、技術向上を目的として専門部会の活動をバックアップしてきました。

春の役員会では農産部会に加え、加工・水産の活動を進める食品部会、畜産・畜産加工の活動を進める畜産部会、品物ではなく流通や環境をテーマにする流通部会、合わせて4つの部会を設立しました。

2000年1月に新しいらでいっしゅぼーやになり、2000年4月の会員規約を元に活動が昨年・一昨年と進められました。会報で努めたのは活動内容と会計のガラス張り。部会の活性化を心がけ、農産部会を中心にうまくいったと思います。次年度へこの活動を継承していければと思います。

〔会計報告〕

監査役：寺崎 克雅

Radixの会の運営自体は法的に行なわれています。会計は月次単位で

間違いなく行なわれており、会全体の会計は整ったものと思えます。上期の決算については問題がないことを10月の役員会で報告させていただきました。今期決算におきましては次期監査役より今後発表があるものと思えます。最後のお願いになりますが、この会は皆様ご自身の団体であります。積極的に有意義にご活用いただきたいと申し上げて報告に代えさせていただきます。

(当日資料8～13ページ)

■役員の変更

規約により2002年度Radixの会役員の改選を上程。Radixの会で選出される役員については役員会が推薦をすることになっています。斉藤会長代理よりその経緯も含めた推薦案が提案されました。また、次期特別会員(らでいっしゅぼーや)幹事、監査役、事務局長について、特別会員幹事の後藤副会長から報告されました。いずれも満場一致で承認されました。

〔生産者役員の推薦〕

会長代理：斉藤 公雄

Radixの会の役員はらでいっしゅぼーやが推薦していましたが、らでいっしゅぼーやの推薦生産者役員を交えた役員会で検討し、役員決定候補

といたしました。

畜産・農産・水産・加工・非食品それぞれの代表としてRadixの会の新しい発展、伸びる方向性を実践していただける最適な人と確認しております。今までにない経済情勢のなか、大変ではありますが、よりよい方向性・活動を会員の皆様共にご協力いただければ幸いです。

〔特別会員幹事の報告〕

特別会員幹事副会長：後藤 和明

特別会員幹事として、また2年私後藤と川崎孝文が商品部として参画します。それと情報のところで企画部の藤巻啓二が参画、交流の部分で今期より東と西の大きなセンターの区分の中で東日本支社の支社長である河野浩三、西日本は福江敬太郎。以上5名を指名しご報告させていただきます。

監査役としては古屋満氏にお願いいたします。事務局長は竹内周が続投です。以上、生産者の新役員15名を併せ、らでいっしゅぼーやより5名、事務局で2名、計22名よろしくお願ひします。

(当日資料8～19ページ)

